

ETTO創刊10年・江田島市誕生20年

1	4町合併 江田島市誕生20周年
3	江田島市の古写真
5	ETAJIMA TOPICS ・江田島市 市制施行20周年の記念式典 ・20周年記念の江田島湾海上花火大会 ・20周年記念の映像2本をYouTubeで公開中! ・11月に島々の祭典「アイランダー2025」に出演! ・江田島市 土手三生新市長よりご挨拶 ・浜田省吾さんゆかりのバス停をリニューアル ・江田島市で撮影 映画「やがて海になる」全国公開!
7	ETTO創刊10年 特別企画: 歴代編集者より皆様へ ・「東京江田島ファン倶楽部」の総会・懇親会 ・「東京江田島ファン倶楽部」の新会員大募集!! ・「ETTO」創刊10周年に寄せて
9	ETTO創刊10年 特別企画: 読者プレゼント!!
11	・おすすめの美味しい店舗紹介 ・第三代江田島市長 明岳周作氏よりご挨拶 ・「江田島ファンネット」のご案内 他

こんにちは! ETTO(えっと)です!

2015年に創刊した「東京江田島ファン倶楽部」の会報名は、地名の最初の2文字で、「ETTO(えっと)」。ETAJIMAとTOKYOをつなぐという想いを込めました。“えっと”は“たくさん”という意味の広島地方の方言でもあります。

今号は江田島市誕生20年の歩みと、古写真集から抜粋した風景を写真で振り返り、創刊10年の企画では、今までの表紙、歴代編集者、素敵な読者プレゼントが揃い、従来より4ページ増となりました。これからもETTOが皆様にとって、江田島市を起点とした温かいご縁を“えっと”紡いでいくものになりますように…。

「東京江田島ファン倶楽部」ETTO編集部

～取材の思い出～

創刊から10年、わかりやすい写真が多く親しみやすい会報を目指しましたが、江田島市の方々は奥ゆかしく、宣伝が苦手という側面があります。「このすばらしい部分を掲載したい」とご提案しても、ご自身では特別際立ったことだとは思っていらっしゃいません。取材を行うと、江田島市にしか無いもの、憧れてしまうほど素敵なところ、思いがけない発想、心に響く言葉が必ずあるため、「それを東京の人に紹介させてください」という言い方を使い、あちこちで図々しいお願いをいたしました。インタビューでは、長年の試行錯誤や強い覚悟に泣きそうになったり、独特な思い出に大笑いしたり、信念や真心、お人柄や仕事への向き合い方に尊敬の念がわき、時には編集者側が言葉を失い、受け答えできなくなるほどです。

ぜひ皆様もETTOを持って、誌面に登場された方々を訪ねてみてください。掲載できなかった裏話を聞いて、ファンになってしまいかもしれません。(SHOTO DESIGN:正藤由美子)



ETTO創刊10年・江田島市誕生20年

Recommend!

Pasto & Bar 波音 ～はおん～ 沖美町 是長



※ご予約などはお電話にてお問い合わせください

●2024年4月23日オープン

瀬戸内海を一望できる海岸沿いに位置し、海はもちろん背後の山の眺めにも癒される、居心地の良いおしゃれな店舗です。沖美町ならではの美しい夕日には感動する人が多数!トーストやおにぎりのモーニング、日替わり定食など豊富なランチ、コーヒーとケーキや、カステラなどのカフェ、お酒を楽しみながらのディナーと利用する時間帯によって景色とともに、様々な楽しみ方ができます。お弁当の予約や、宿泊も可能な施設です。

【住所】広島県江田島市沖美町是長89-3
【電話】070-7794-5436
【定休日】火曜(不定休あり)
【営業時間】平日: 8:00open 土日祝: 7:00open

えたじま新鮮市場 amamo ～あまも～ 江田島町 江南



●2024年4月27日オープン

江田島市内外の方から長年愛された「江田島市海辺の新鮮市場」の閉店後、2024年4月に名称を「amamo(あまも)」に変更してリニューアルオープン。2階のamamoのお食事は、2025年6月より島のお母さんが考えた一品一品を、真心込めて提供しています。とんかつやお刺身、小鉢の付いた「あまも御前」や、「海鮮丼」「刺身定食」「煮魚定食」など新鮮な海の幸を使ったランチを、目の前に広がる海を眺めながらお召上がりください。週末は売り切れ必至ですのでどうぞお早めに!

【住所】広島県江田島市江田島町江南1丁目1-37
【電話】0823-27-7266
【定休日】月～木(祝日はopen)
【営業時間】2階: あまも食堂 11:30～14:15(La)

第三代江田島市長 明岳周作氏よりご挨拶



東京江田島ファン倶楽部会報「ETTO」を御愛読いただきありがとうございます。この「ETTO」も創刊10年目の節目を迎えることができました。これもひとえに、皆様の御支援があつてのことです。改めて御礼申し上げます。

江田島市は2004年11月1日に4町合併して市制施行し、昨年、2024年11月をもって20周年の節目を迎えました。この20年を振り返ると、合併時31,000人の人口は21,000人まで減少し、少子高齢化が深刻化しています。しかしながら、近年では、多くの方々の御尽力のおかげで、テレビなどのマスメディアで明るい話題が取り上げられ、「えたじまは元気だね」と声をかけていただくことが多くなってまいりました。おかげさまで本市の認知度は向上していると感じております。今後も本市を盛り上げていくため、引き続き、江田島市に御縁を有する大切な方々である、会員の皆様のお力添えをいただければ幸いです。今後とも、「東京江田島ファン倶楽部」並びに会報「ETTO」をよろしく願ひいたします。

東京江田島ファン倶楽部 会報「ETTO(えっと)」編集部より

創刊10年、懐かしの故郷を思い出す、色々と詰まった記念の号となりました。p9、p10の特別企画・読者プレゼントに、多数のご応募をお待ちしております。アンケートやご感想は一同の励みになっています。プレゼントを快くご提供くださった企業の皆様には感謝の気持ちで一杯です。7号でETTOを彩った宿泊施設、ETTO誌面にご登場はもちろんのこと、広島えたじまブランド認定品やふるさと納税返礼品にもなっている特産品もありますので、詳しい情報はネット検索をしていただき、ぜひお好みのものをお選びください。江田島市で撮影された映画「やがて海になる」も全国公開されます。皆で応援していきたいましよう。(ETTO編集長:船野秀樹)



2024年よりETTO編集者となった渋谷です。初めての編集担当が節目の10号ということでプレッシャーもありましたが、皆様のご支援・ご協力のおかげで完成いたしました。また、全国170を超える離島から、東京・池袋サンシャインシティに集結し、2日間にわたり開催された島々の祭典「アイランダー2024」では、運営を手伝ってくださるなど、「東京江田島ファン倶楽部」の委員の方をはじめ、会員の皆様に改めて御礼申し上げます。総会・懇親会には多くの方々に越えいただき、有意義で楽しい時間でした。次回もまたお会いできることを楽しみにしております。江田島市にもぜひ遊びに来てくださいね!(ETTO編集者:渋谷智寛)



至らない点が多々あるにも関わらず、創刊から10年、担当を続けられることはデザイナー・人生でも稀です。ご厚情に感謝いたします。江田島生まれの祖父が「東京で働く孫が、江田島市役所の方々と一緒に取材を!」と驚きつつ、内容を見て大変喜ぶため、企画、構成、取材、撮影、記事作成も、とても好きになりました。デザインは「余白」で決まるとはいえ、伝えたい情報があふれがちで、文章も写真も増加傾向です。以前、超過密なレイアウトページを作ったし、しい反省…。けれど今号は、掲載させていただいた方々による読者プレゼントのご提供に大感激しております。これからもご覧になる皆様に一つでも楽しんでいただけますように。(ETTO編集者:正藤由美子)



詳しくは… 江田島ファンネット 検索

東京江田島ファン倶楽部 会報 ETTO [えっと]

Vol. 10 記念号: ETTO創刊10年・江田島市誕生20年 2025年2月発行

発行・編集: 江田島市役所 企画振興課「東京江田島ファン倶楽部」事務局 〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地 Tel: 0823-43-1630 Fax: 0823-57-4433 Mail: kikaku@city.etajima.lg.jp

- 取材、撮影、記事作成 船野秀樹、渋谷智寛、尾上元気、植永紘章、三崎尚子
- ディレクション、デザイン、取材、撮影、記事作成 SHOTO DESIGN 正藤由美子 Mail: shotodesign@gmail.com
- Special Thanks! GO江田島委員会、1号から10号まで、取材に応じてくださった全ての皆様

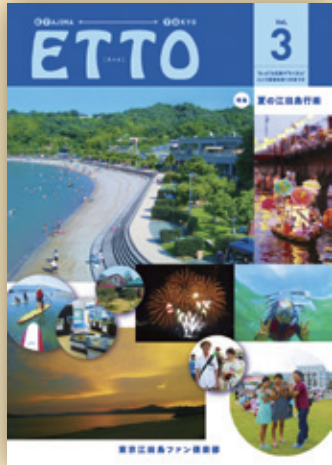
※メールアドレスが変更になりました。掲載内容および表記は2025年2月時点のものです。次号は2025年11月発行予定です。



Vol. 1 島の玄関口「港」



Vol. 2 旧海軍兵学校



Vol. 3 夏の江田島行楽



Vol. 4 江田島オリーブ



Vol. 5 島の交流拠点「フウド」



Vol. 6 えたじま史跡巡り



Vol. 7 東京から島へ企業進出



Vol. 8 地元に愛され続ける「老舗」



Vol. 9 島の海辺を探検

2004【H.16】

11月1日、江田島市誕生(4町合併)
初代江田島市長に曾根薫氏就任

2005【H.17】

江田島市合併記念式典開催
江田島市初の市議会議員選挙

2006【H.18】

県営水道送水トンネル管崩落事故発生
かんぼの宿芸能美閉館
県内初 赤バイ消防隊発足

2007【H.19】

江田島市総合計画策定
小用港旅客ターミナル完成

2008【H.20】

中町港旅客ターミナル完成
第二代江田島市長に田中達美氏就任

2009【H.21】

「サンビーチおきみ」オープン
市民憲章・市の花(キク)・木(サクラ)・魚(カキ)決定
江田島小学校新校舎完成

2010【H.22】

大柿自然環境体験学習交流館の愛称「さとみ科学館」に決定
予約型乗合タクシー「おれんじ号」運行開始

2011【H.23】

気仙沼市の大島汽船に「ドリームのうみ」を無償貸与
「サマーフェスタ江田島」で東日本大震災の復興支援
江田島オリーブ初収穫

2012【H.24】

浜田省吾さんゆかりのベンチを江田島図書館に設置
女性の消防団「オリーブ隊」発足

2013【H.25】

「東京江田島ファン倶楽部」設立
能美中学校新校舎完成
瀬戸内サイクリングロードを「かきしま海道」に決定

2014【H.26】

軽自動車の救急車導入
市制施行10周年記念式典開催

2015【H.27】

新種「エタジマホンヤドカリ」発見
「広島えたじまブランド」認定を開始
「東京江田島ファン倶楽部」会報ETTO(えっと)創刊

えたじま のうみ おきみ おおがき
江田島町、能美町、沖美町、大柿町が合併し江田島市が誕生



2016【H.28】

江田島市初の地域おこし協力隊着任
「江田島オリーブファクトリー」オープン
江田島市役所本庁舎が大柿町へ移転
第三代江田島市長に明岳周作氏就任
「しま山100選」に古鷹山が選出

2017【H.29】

国民宿舎「能美海上ロッジ」閉館
「世界フィギュアスケート国別対抗戦」でオリーブ冠を初提供
島の内外の人が交わる多目的スペース「フウド(風・海・土)」オープン
牡蠣生産量日本一(2008年以来)

2018【H.30】

7月豪雨災害
「旧海軍兵学校」江田島移転130周年(東京・築地から移転)

2019【H.31 令和元年】

江田島広報大使にSTU48の矢野帆夏さん就任(2019年~2022年)
江田島海自カレー販売開始
「シーサイド温泉のうみ」閉館
「サンビーチおきみ」が「Uminos Spa & Resort」としてリニューアル

2020【R.2】

江田島市消防本部・江田島消防署新庁舎完成
三高港に新たな旅客ターミナル・三高支所・みたか交流プラザの複合施設「三高ゲートハウス」完成

2021【R.3】

東京・新宿のバレットグループ株式会社が江田島市初のサテライトオフィス「広島ラボCOCODEMO江田島」開所プログラミング教室開催(写真:A)
江田島町中央にホテル「ご安航」開業
ギリシャ共和国ホストタウン登録
江田島市古写真集発刊
温泉宿「江田島荘」が長瀬海岸に開業

2022【R.4】

国道487号小用バイパス開通(写真:B)
富士通ワーケーション協定締結

2023【R.5】

江田島市建造の新造船「瀬戸ブルー」運航開始
「江田島オイスターファクトリー」開所
「早瀬大橋」開通50周年

2024【R.6】

市制施行20周年記念式典を開催
江田島市出身で元バレーボール選手の栗原恵さんの基調講演
江田島市出身の沖正人監督が江田島市で撮影した映画「やがて海になる」完成
第四代江田島市長に土手三生氏就任

ふるさと再発見「江田島市古写真集」～つむぐ 記憶と記録～

昭和28年 [1953]



競馬場のある風景(江田島町宮ノ原)
終戦当時は競馬場が存在し、島にとって数少ない娯楽の一つ。



昭和39年 [1964]

江田島小学校
(江田島町中央)

明治6年(1873)、時習館として教法寺内に創設。明治13年(1880)に、現江田島市民センター所在地に移転。



現在の江田島小学校

昭和31年 [1956]



江田島八幡神社のお祭り
(江田島町中央)
中央商店街で踊り、神社へ向かう賑やかな行列の様子。



昭和30年頃 [1955]

江田島八幡神社前の羊と親子(江田島町中央)

昭和15年(1940)に始まった羊の飼育は戦後も盛んで、江田島音頭に「羊のむれよ」と歌われたほど。



昭和30年頃 [1955] (左・中央)



小用峠(江田島町中央) 中央から小用に向かう峠を通る葬儀の行列とボンネットバス。
下士卒集会所前(江田島町中央) 民家の屋根と下り坂が見える。
小用港(江田島町小用) 看板には「江田島町小用港 鉄道連絡 瀬戸内海汽船棧橋」(年度不明)。
※東京江田島ファン倶楽部の正藤澄雄会長から提供された3枚。

水田の農作業(能美町高田)

農耕馬に馬鍬を引かせ、水田の代掻きを行う様子。写真に写る水田は、旧高田公民館の北側一帯。奥は野登呂山。



昭和30年代 [1955's] (上・右下)



旭座(能美町高田)

劇場の告知看板には映画2本立て20円とある。

昭和29年頃 [1954]



昭和37年 [1962]

能美中学校の給食風景(能美町中町)

各学級50人程いた時代。パンがまるで草履のように大きい。

昭和26年頃 [1951]

大柿高校周辺の風景(大柿町大原)

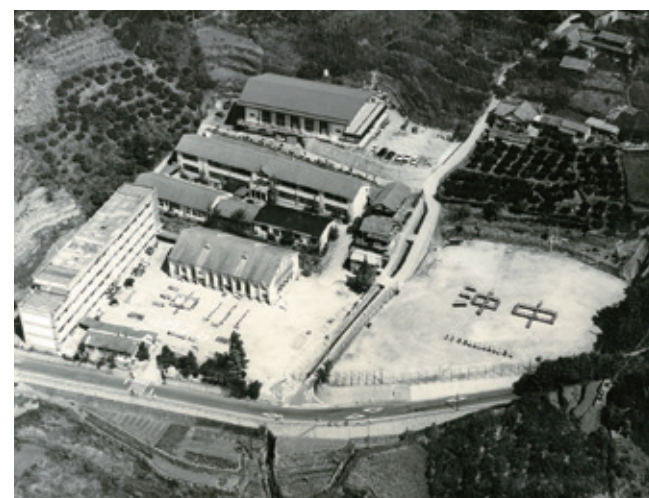
手前にあるのが大柿高校。奥が大古小学校。



昭和39年 [1964]

美能漁港・内海(沖美町美能)

台風14号の接近に備え、多くの船が避難している。右上の社は胡子神社で、今も同じ場所にある。



昭和51年 [1976] **沖小学校と沖中学校**(沖美町畑)

共に昭和25年(1950)建築の沖小学校と沖中学校の写真。

昭和47年頃 [1972]

工事中の早瀬大橋(大柿町大君)

住民による10円募金運動も行われ、約300万円もの募金が集まった。当時の最新技術を駆使した工事は、約5年の歳月をかけて完成。先に開通した音戸大橋を通して本土と陸続きとなる。



昭和48年 [1973]

祝 早瀬大橋



早瀬大橋開通記念パレード



現在の早瀬大橋

「江田島市古写真集」 ※提供: 江田島市教育委員会 生涯学習課 (詳しくは、p10の読者プレゼント15番をご覧ください)

【お問い合わせ先】 江田島市教育委員会 生涯学習課
広島県江田市能美町中町4859-9 Tel: 0823-43-1902 Mail: gakusyu@city.etajima.lg.jp

情報はこちら!



※撮影された当時の年や年代を記載。※江田島市教育委員会が、江田島市の皆様のご協力のもと地域の古い写真を収集し、2021年に発刊した「江田島市古写真集」から、4町の写真数点を抜粋・再構成してご紹介。

ETAJIMA TOPICS

江田島市 市制施行20周年の記念式典

2024年11月1日の市制施行20周年にあたり、国会議員、県内市町の代表者、市内外の各種団体など多数ご列席いただき、記念式典を開催。
二胡奏者の海谷真貴子さん、ピアノ奏者の有田圭子さんのオープニング演奏で幕を開け、明岳周作市長(当時)は、「豊かな自然、人の温かさをさらに活かし、みんなが支え合い、活躍できる基盤を作っていくことが大切です。島に関わる人々が島を愛し、頑張っている人々が個性と才能を発揮し、夢が叶えられる江田島市を目指して取り組んでまいります」と式辞を述べました。
記念行事は海上自衛隊呉音楽隊による演奏と、バレーボールでアテネ・北京オリンピックに出場された、江田島市出身の栗原恵さんの基調講演。「私と江田島市」というテーマで、中学生ながら親元と故郷を離れる際の心境、家族との絆について伝える姿は会場に感動を呼び、「オリンピックの試合前の不安な時、緊張した時は、こどもの頃によく遊んだきれいな江田島市の海を思い浮かべ、心を落ち着かせていました」と笑顔で語っていただきました。



2024年10月19日に、わくわくセンター(能美町鹿川)で行われた20周年記念式典の様子。栗原恵さんの基調講演後、式典の進行役を務めた栗原さんの同級生でタレントの珠屋亜弥さんと、お二人の小学校時代の恩師、下田豊子さんとの記念撮影も行われました。

20周年記念の江田島湾海上花火大会



江田島市市制施行20周年を記念し、海上自衛隊第1科学学校(江田島町)で江田島湾海上花火大会を、自衛隊記念日行事と合わせて2024年11月3日に開催。記念日行事として自衛隊の観閲式が行われ、国旗を先頭に、一糸乱れず行進する海上自衛隊の隊列姿をひと目見ようと、多くの来場者が訪れました。
そして、地元企業と多くの協賛者に支えられて実現した2,100発の花火が夜空を彩り、フィナーレで広島県内最大の20号玉が打ち上げられた時には、その迫力に拍手と歓声が沸き上がりました。

20周年記念の映像2本をYouTubeで公開中！



歴史編



【過去の自分からのメッセージ】
「私(江田島市)の誕生からもう20年か……。そりゃあ誕生までにはいろんなことがあったさ。あの子はすっかり大人になり、あの人は変わらず自分の町を誇りに生きている」それぞれ歩みや想いをご紹介！



【いる多彩に、ひと多才に、】
「みんなの暮らすまちってナニイロに見えている？このまちはいろんな色が混ざってキラキラしているところなんだ」一人ひとりが夢や生き方を語り、それを“えたじま色”にたとえます！

未来編

年に一度、全国の島々が集まる祭典「アイランダー」が都内で開催！

主催：国土交通省、公益財団法人日本離島センター



全国170以上の離島が参加する、入場無料の交流イベント「アイランダー」。江田島市の出展ブースでは、移住のご相談、特産品販売や試食、PR映像、冊子やチラシ、地図の配布、観光地や宿泊施設などの最新情報をご紹介。ロサンゼルス映画祭で受賞した、江田島市が舞台の映画「やがて海になる」(主演：三浦貴大さん)の「横浜シネマリン」の公開初日(江田島市出身の沖正人監督が舞台挨拶予定)も11月22日ですが、ぜひどちらもご来場ください!!

2025年 11月22日(土) 10:00 ～ 18:00 ・ 11月23日(日) 10:00 ～ 17:00

開催場所：池袋サンシャインシティ 文化会館ビル2F 展示ホールD (東京都豊島区東池袋3-1-4)



公式サイト

江田島市 土手三生新市長よりご挨拶

東京江田島ファン倶楽部の会報「ETTO」をご愛読の皆様、ありがとうございます。江田島市長の土手三生(どて・さんせい)でございます。2024年11月17日に執行されました市長選挙で、ご信任をいただき、第四代江田島市長に就任しました。全ての皆さまに改めて感謝申し上げます。
現在、江田島市では、人口減少、少子高齢化に伴う様々な課題がありますが、一方でIT企業や工場などの進出、創業、企業件数の増加など、明るい兆しも生まれつつあります。こうした兆しをつかみ取り、安心で活力のある未来を築いていくための重要な局面を迎えております。市長となりました私の役割は非常に大きいものであると同時に、その責任の重さに身が引き締まる思いでございます。
本市には美しい島の恵み、伝統ある文化、人々とのつながりと温もり、都市との交流、新たなチャレンジの場などの特色があります。これらを活かして、誰もが自分らしく輝き、つながり、支え合い、共に生きる。そのような心豊かな暮らしを営むことができる、持続可能なまちづくりを進めてまいります。
この「東京江田島ファン倶楽部」は、江田島市に“縁”を有する方々が集う大切な会であります。会員の皆様には常に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。引き続き、この“縁”を大切に、皆様のご期待に沿うべく、取り組みを進めてまいりますので、今後ともお力添えの程よろしくお願いたします。



土手 三生 SANSEI DOTE

1953年、江田島町切串に生まれる。1977年に江田島町役場へ入庁。総務課長、総務部長等を経て、2015年、副市長を就任。副市長退任後、2024年12月に第4代江田島市長として就任。

■趣味

家庭菜園、登山、映画鑑賞

■好きな食べ物

野菜サラダ、焼肉、刺身

■江田島市の好きなところ

自然豊かで、心温かな人達

■好きな言葉

虹は自然がつくり、
奇跡は人がつくる

■好きなスポーツ

野球、バレーボール

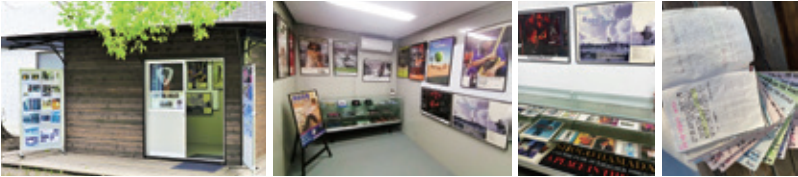
■好きな本

ミステリー小説

シンガー・ソングライターの浜田省吾さんゆかりのバス停を、江田島市がリニューアル

警察官の父の転勤に伴い、9歳から13歳まで江田島町で過ごした浜田省吾さん。1992年発行のファンクラブ会報「Road&Sky」には、通学に利用していた呉市営バス(当時)の山田バス停のベンチに浜田さんが座った写真と、学校帰りの小学生を見ながら少年時代に思いを馳せて語った記事が掲載され、ファンが山田バス停をたずねて来るようになりました。
2005年リリースの、「初恋」の歌詞にもあるように、10歳の頃ラジオから流れてきたビートルズを初めて聞き、一瞬でその音楽に夢中になって教室でも歌っていたという浜田さん。「オレにとって初恋の相手はロック・ミュージック、江田島は“初恋のきた島”なのです」と2011年2月に開催された

「江田島音楽トーク」にメッセージを寄せたこともあり、ファンの間では広く知られた逸話です。
2012年の工事でバス停が撤去される話が持ち上がりましたが、「江田島音楽トーク」のスタッフ達が関係者に願ひ出て、ゆかりのベンチや掲示板など6点を無償で譲り受け、浜田さんが通っていた鷲部(わしべ)小学校跡地に建つ江田島市立図書館の中庭に移設し、保存することができたため、全国から“聖地巡礼”ファンが足を運びはじめました。江田島市はより多くの方々に楽しんでいただけるよう、2023年12月に、当時の「呉市営バスのりば」停留所の案内標識、窓や広告の看板がついた壁、屋根などを復元し、さびや汚れ具合など細部まで再現性を高めてリニューアル。旧山田



江田島図書館 広島県江田島市江田島町鷲部2丁目13-1 Tel: 0823-42-1417 開館時間: 9:30～19:00
休館日: 木曜日、毎月最終水曜日、祝日、年末年始、特別整理期間 ※屋外の展示はいつでもご覧いただけます。
※屋内展示スペースの開館時間は原則、江田島図書館に準じます。詳しくは公式サイトをご覧ください。

江田島図書館
公式サイト



バス停のベンチに座り、浜田さんと同じポーズで撮影できる写真スポットや、ファンから寄贈された貴重なレコードやポスター、雑誌、グッズを展示するスペースも新たに拡張し、1年間で5,000人以上のファンが訪れています。



2024年5月に行われたファンイベントでは、バンドが浜田省吾さんの「初恋」などを熱唱。2025年2月22日、第1回「初恋音楽会」を開催。

ファンイベントの
ダイジェスト動画



江田島市のYouTube

江田島市が舞台の映画「やがて海になる」が全国公開！

ロケ場所の案内、撮影準備のための場所確保、エキストラ募集の広報などを行った江田島市が、故郷とは何かを考える映画、「やがて海になる」をご紹介します。

Interview

おきまさと
江田島市出身・沖正人監督の映画製作話

■ 公開時期

夏にまず広島で先行上映し、都内近郊でも秋から順次公開します。初日は舞台挨拶に行きますので、ぜひお近くの映画館へ足を運んでください。

■ 映画製作の協賛金について

映画の宣伝を大きく打ちたいと考えているので、まだ募集しています。プレミアム試写会へご招待、完成台本データをプレゼント、映画のエンドロールやパンフレット、公式ホームページなどにお名前を掲載、といった特典があります。協賛のお申し込み方法のご質問やご不明点は、製作事務局までお気軽にご連絡ください。電話でもしっかり対応できるスタッフです。

■ 撮影場所

ロケ地の9割以上が広島になりました。江田島市が70%位で、25%位が呉市です。

■ 映画の中で使われた「広島弁」

実は、全てのセリフを自分でテープに吹き込んで役者さん達に渡した上で、監督なのに、現場でも自ら方言指導を行っていました(笑)。地元の人が聞いて「うん？」と思われる方言は嫌でしたので。

沖 正人さん

1975年1月6日、広島県江田島市に生まれる。コーエンジ・ブラザーズ(共同監督)として活動を開始。初監督作品「Bourbon Talk(短編)」が、国内外の映画祭で受賞。2作目の初長編映画「お口の濃い人」は、第24回函館港イルミネーション映画祭でオーディエンス・アワード、グランプリを受賞。個人での活動となつてからは、2021年6月にYouTubeで1週間限定配信された短編映画をもとに企画・監督した長編映画「ある役者達の風景」※と、企画・監督・脚本を手掛けたオムニバス映画「THEATERS」が、函館港イルミネーション映画祭オーディエンス・アワードにて史上初の2年連続グランプリを獲得。3度目の受賞を果たす。海外での受賞歴も多数。2024年夏に出身地である江田島市で撮影した「やがて海になる」は、脚本に4年の歳月をかけて製作。2025年冬には新作の準備に入る。※「ある役者達の風景」はAmazonプライム、U-NEXTで配信中。



■ 美しい風景や音について

海や自然、一つひとつの音にもこだわりました。また今回は、カメラマンを女性にお願いして、繊細に絵葉書のように撮りたいと思っていたんです。綺麗な景色の中で、ゆっくりと物語が進む映画にしたいと考えていました。

■ 映画製作で悩んだ点

編集が肝心で……。これは持論なんです。映画は90分を目指して作るものだと思うんです。「このシーン大事だったけどな」と思いがら、苦渋の決断の連続でした。

■ 江田島市へのロケ地巡り

ぜひしてみてください。何気なく歩いていた道でも建物でも、「江田島にこんな所があったのか」と再発見できることもあります。「今度あのシーンの場所へ行ってみよう」というのも映画の良さだと思っています。

■ この映画を通して伝えたいこと

やはり自分が育った江田島を残したい。映画は100年先にも残ると考えているんです。観てくださる方の心にもしっかりと届けたいと製作しました。

MASATO OKI

Story

これまで一度も江田島を出ることなく暮らしている修司(三浦貴大)。父親が亡くなってからは、母親の心配をよそに日々を情性で生きていた。ある日、東京で映画監督として活動している幼馴染の和也(武田航平)が、江田島を舞台に映画を撮ることをテレビ放送で知る。同じく二人の幼馴染で元々は和也の彼女だった幸恵(咲妃みゆ)も、その放送を見ていた。そして徐々に再会を果たす…。江田島で生まれ育った三人の、極めて純度の高い物語。

協賛者限定特別先行試写会にて

- ・美しい江田島の情景、そして三人の心の交わりと葛藤が、懐かしくも切ない思い出を蘇らせてくれた。
- ・沖監督の青春時代やこれまでの苦悩など、監督自身のヒストリーを感じさせるような、思いが詰まった映画のように感じられた。
- ・登場人物の抱える悩みを、地元に戻り帰し、乗り越えていく姿が印象的だった。
- ・島の綺麗な景色が多数使われており、波の音・風の音など、音にも監督が信念を持って追求していると感じた。

いつも心に江田島を

私は江田島市出身ですが、自分がどこにいても恥ずかしくないように江田島代表という気持ちを持って活動しようと考えています。地元から離れた地にいるETTO読者の皆様も、故郷代表の一人として、お互い胸を張り、日々を過ごしていきましょう。



右手にETTO創刊号と9号、左手に協賛者プレゼント用のサイン入り台本を持つ沖正人監督。お忙しい中、江田島市役所にてETTO編集部との質問や疑問に丁寧に答えいただきました。



最新情報は
公式LINE

映画「やがて海になる」協賛者募集中！

※ご協賛金1万円より、様々な特典があります

【お問い合わせ先】「やがて海になる」製作事務局

Tel: 090-1711-7407

Mail: babybreathlabo@gmail.com

担当：関西(せきにし)敬文さん

【協賛金受付口座】広島銀行大柿支店

【口座番号】(普) 3085271

【口座名義】「やがて海になる」製作事務局

代表：伊藤 崇さん



協賛お申し込み
フォーム

※劇場情報や公開初日などの詳しい内容は公式サイトやSNSをご覧ください。

東京江田島ファン倶楽部の会員特典“ETTO(えっと)”は多くの皆様のご協力のもと、10年の節目を迎えることができました。江田島市を紹介する広報ツールとしても活用しており、全国にお住まいの方々や企業、マスメディアが実際に訪れるきっかけにもなっています。これからも楽しく読んでいただけるよう企画してまいりますので、ぜひ皆様のご感想、ご要望をお寄せください。



畑内 真 初代編集長
〔ETTO担当歴:1号～8号〕
現在、企画部長



花野 泰司 初代編集者
〔ETTO担当歴:1号、2号〕
現在、総務課



川上 建司 二代目編集者
〔ETTO担当歴:3号、4号〕
現在、政策推進課



古本 淳一 三代目編集者
〔ETTO担当歴:5号〕
現在、秘書室



松本 大樹 四代目編集者
〔ETTO担当歴:6号、7号〕
現在、出向中



吉田 大輔 五代目編集者
〔ETTO担当歴:8号、9号〕
現在、社会福祉課



鮎野 秀樹 二代目編集長
〔ETTO担当歴:9号、10号〕
企画振興課 課長兼、ETTO編集部



てい智寛 六代目編集者
〔ETTO担当歴:10号〕
企画振興課 主事兼、ETTO編集部

6号の「えたじま史跡巡り」です。様々な史跡を調べて探して、市内中を駆け回りました。頑張った甲斐があったようで、実際に6号を手にも、訪ねてくださる方がいっしょに、大変感激いたしました。江田島旅行の日程に組み込んでいただけて光栄です。

貴重な撮影をすることができた、2号の「旧海軍兵学校」です。東京江田島ファン倶楽部の会員の皆様をはじめ、多くの方々による全面協力が無ければ実現不可能な特集でした。カメラをかついで走り回ったこの取材前後はとても楽しい交流ができました。

色々な方が江田島市を選んでくれたことに感動した、7号の「企業というえたじま仲間」です。4号は7月豪雨災害がありました。悩んだ末「江田島オリブ」特集は予定通り楽しく、同時に皆様の日々の備えを考えるきっかけになるような記事も掲載しました。

5号で新店舗や宿泊施設などを回り、そこで活躍する人に出会えて、交流が生まれた取材がとても楽しかったです。ETTOらしく明るい写真を掲載するため、映える青空の日を待って撮りに行くなど、何度も現場に足を運んだことも良い思い出です。

7号の、東京から移住されたIT会社「GeneLeaf」の記事です。ETTOデザイナーの正藤さんとの取材もあり、代表の安西さんの想いだけでなく、プライベート部分も伝えられたことで、充実した内容になったのではないかと思います(自画自賛ですみません!)

8号は歴史と由緒ある「老舗」ならではのお話と、江田島市への深い愛を知り、取材をしたこちらがエネルギーをいただきました。9号では「さとうみ科学館」。カプトガニなど、実際に生き物に会えるワクワクは大人でも心踊ります。ぜひ現地でご覧ください!

島といえば、やはり海! 二代目ETTO編集長となり、初めての特集内容が9号の「里海」。人里近くにあり、生活に結びついた海や海岸のことです。江田島市で最も豊かな生物相を誇る釣附(つるづき)海岸をはじめ、四季を問わず海へ遊びに来てください。

6号の特集「えたじま史跡巡り」が印象深いです。前部署(観光系)にいた際に変重宝いいたしました。初の編集担当が節目の10号で重責でしたが、皆様取材に快く応じてくださいました。江田島市で撮影された映画の全国公開も楽しみです!

たくさんの魅力ある人々の存在ですね。もちろん、東京江田島ファン倶楽部の皆さんも含めて!



夏の「切串おかげんさん祭り」をおすすめします。麦わらで編んだ手作りの小舟の灯りが夜になると川面に映えて、幻想的です!



潮の香りです。全く海がないところから帰ったときに改めて実感しました。



街と比べて時間がゆっくりと感じられたり、関わる人たちが元気で温かいところです。

かふえ渚のご夫妻。



魅力はなんといっても、「人」です。人の温かみや優しさがダイレクトに伝わるのが最大の魅力だと思います。早く江田島市に戻りたいです!(現在、出向のため…笑)



江田島市の応援や、発信をしてくださる会員の皆様の情熱は、強い魅力のひとつです! 年に一度の総会・懇親会や、島々の祭典「アイランダー」などで交流した時のえたじま話は、江田島市への愛情と人を感じました。

大柿町の釣附海岸と広島県最低峰の茶臼山(ちやうすやま)。トンボロ現象による海の道。ゆっくりと穏やかに過ごせる環境ですね。



人との繋がりが密で、困っている人を見ると放っておけない、面倒見の良い温かな方が多いところです。



10号でも親身に
対応してくださった津田酒造様。

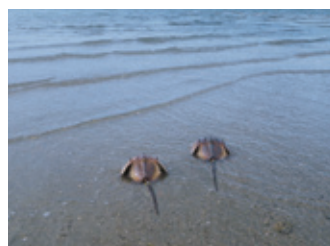
会報は「会員様への特典がほしい」「郷土の様子をお届けしたい」と始めたもので、創刊前は単純なものを思い描いていました。それが皆様の多大なご協力のもと、立派なカラー冊子を毎年作ることができるなんて…。ETTOが縁で繋がった幸運でした。ぜひ楽しんで写真を眺めて、読んで、そして訪ねて来てください。江田島市はいつも元気です!

総会・懇親会での交流をはじめ、仕事を越えた楽しい思い出ばかりでした。ETTO1号、2号の制作では、編集部取材力、アイデア力、デザイン力と皆様のご協力のおかげで、一般的な無料会報とはひと味違うものができたのではないかと思います。読者の皆様に楽しんでいただけたなら幸いです。そして、この10年の江田島市の進化を見に、遊びに来てください!

江田島生まれ江田島育ちとして、3号では海水浴場や、本当は内緒にしておきたい真道山のキャンプ場を紹介しました(笑)。それでもETTO担当時に初めて知ることが多く、正直驚きました。総会など楽しい交流の中でも皆様からの違う視点に気付かれ、感謝しております。今、江田島市がますます楽しくなっています。これからも応援をよろしくお願いいたします。

現在、秘書室勤務のため、江田島市長とともに東京開催の総会・懇親会に参加し、毎年皆様とお会いすることができています。えたじま愛あふれる皆様と笑顔での再会は、嬉しく楽しいひとときです。どうぞご家族ご友人と連れ立って、またお気軽に一人様でも、ご参加をお待ちしております。そしてETTOを片手に、ぜひ江田島市へお越しください。

担当していた時はコロナ禍により皆様との交流機会が少なかったですが、そのような中、会員数は増加し、多くの方から応援いただき誠にありがとうございました。6号裏表紙で、島内一周が約100kmある江田島市を効率よく巡るために、カーシェア日帰り観光コースをご提案しました。免許をお持ちでしたら、気軽なドライブ観光も楽しんでもらえると思います。



たまには島でくつろぎの時間を! 江田島市で待っています。また、ETTO10年目にして初の協賛を企画し、多くの読者プレゼントをご用意することができました。読者の皆様には宿泊施設やお食事が江田島滞在のきっかけとなり、様々な特産品を知っていただければ幸いです。10号記念の特別な読者プレゼントに、ぜひふるってご応募ください!

p9、p10の読者プレゼントの各種の特産品が気に入って、すぐにも欲しい場合は、通販などでお取り寄せも可能です(笑)。まずは楽しんでお選びいただき、江田島市を感じただけだったらと思います。また近年、新たな移住者や企業が本市へ移り、様々な取り組みが生まれています。進化し続ける江田島市へ、ぜひお越しください!

「東京江田島ファン倶楽部」の総会・懇親会

2025年2月2日(日)に「東京江田島ファン倶楽部」の総会を、JR四ツ谷駅から徒歩1分の「主婦会館プラザエフ」で行いました。本誌ETTO読者が年に一度集まり、お食事や会話を楽しみ、交流を深めています。2026年は2月1日(日)に開催予定です。会員の皆さまへご案内をお送りいたしますので、ご家族、ご友人とともに、またはお一人様でもぜひお気軽にご参加ください。



東京都千代田区の「主婦会館プラザエフ」にて行われた総会・懇親会の様子。



新会員様大募集!!

詳しくは…

「東京江田島ファン倶楽部」は、広島県江田島市を応援し、情報交換や交流を目的として2013年に設立。また2015年に創刊した会員特典“ETTO(えっと)”が10年目となりました。今後も全国から新会員様を随時募集いたします!!

- 入会資格: 江田島市にゆかりのある方や、関心がある方なら、どなたでもご入会いただけます。全国どこらにお住まいでも大歓迎です!
- 会費: 無料です。
- 特典: 会報“ETTO(えっと)”最新号を、年1回無料でご自宅へ送付いたします。
- 総会・懇親会: 年1回開催しております(情報と写真は左をご覧ください)。



◀「東京江田島ファン倶楽部」ご入会申し込みフォーム

※東京近辺にお住まいの方への情報発信もごさいますが、どなたでも歓迎いたします。お問い合わせは下記まで。



会員特典の
会報「ETTO」
全号をご紹介します!

ぜひ会報“ETTO(えっと)”のご感想、ご要望をお寄せください!!

「東京江田島ファン倶楽部」事務局 〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地
Tel: 0823-43-1630 Fax: 0823-57-4433 Mail: kikaku@city.etajima.lg.jp

「ETTO」創刊10周年に寄せて



満場一致で決定した、素敵な命名です。

取材ではよく歩き、よく聞き取りし、写真がたくさん掲載されているため内容がわかりやすく伝わります。お墓参り、旧友との再会等で帰省する際の参考になります。改めて読み返したところ、ETTO1号に土手新副市長就任のご挨拶、10号で土手新市長としてのご挨拶と、10年を経て掲載されることになり、ETTOの歩みとご縁があるようですね。ETTO7号で紹介されましたが、会員待望の新たな宿泊施設が2つ開業し、温泉宿「江田島荘」では療養泉、夜景、食事を堪能しました。

ホテル「ご安航」はお墓参りに行きやすい立地ということもあり、気軽に宿泊できありがたいとよく利用しています。また、東京江田島ファン倶楽部の事務局が、会員のためにと制作した「ふるさと納税のご案内」の二つ折りリーフレットがわかりやすく、江田島市へふるさと納税するきっかけとなりました。おかげさまで返礼品を選ぶのが楽しみになっています。毎年秋に東京・池袋サンシャインシティで開催される島々の祭典「アイランダー」では、東京江田島ファン倶楽部の有志の方々が江田島市の法被を羽織り、江田島・能美島のブースの前でふるさと江田島市の素晴らしい、特産品の紹介、販売のお手伝いをさせていただいています。今年は全国の島々の名産品と、様々な江田島物産の購入に参加してみよう。東京江田島ファン倶楽部がますます魅力的で楽しい会になり、会員が増えますように。また会員の皆様と江田島市の繋がりが、“ETTO”を介して“えっと”緊密になりますようご祈念いたします。年に一度、都内で行われる総会・懇親会で、元氣でお会いしましょう。

東京江田島ファン倶楽部会長 正藤澄雄

江田島市でくつろぎの時間を楽しむ

1 「江田島荘」ペア宿泊券(朝食付) **1組様**

温泉宿「江田島荘」 エタジマソウ

【住所】 広島県江田島市能美町中町4718
【電話】 0823-27-7755 ※宿泊対象日は2025/4/1～9/30 (宿泊除外・休・祝前日)

ラグジュアリーホテル業界の頂点「WORLD LUXURY HOTEL AWARDS 2024」で、国内唯一の世界最高位を含む、3部門受賞。全室オーシャンビュー、地元食材を使ったエタじまフレンチのレストラン、源泉掛け流しのぬる湯、露天湯、寝湯、足湯やサウナもあり、ジムも新設。塩化物泉と硫酸塩泉で保湿と保温のお湯は血行を促進。弱アルカリ性のクレンジング効果で、ツルンとした美肌に導きます。2021年夏に開業し、えたとじま愛と真心あふれるスタッフの9割は市内在住で情報通。今回は朝食付きペア宿泊券をプレゼント! [ETTO掲載歴: 7号]

2 「ご安航」ペア宿泊券 **1組様**

ホテル「ご安航」 ゴアンコウ

【住所】 広島県江田島市江田島町中央3-22-4
【電話】 0823-27-3570

飲食店や商店が立ち並びエリアに、2021年春に開業。「ご安航」は船舶の通信に使われる国際信号旗の“UW”と同じく、“安全な航海を祈る”という意味で名付けられました。シンプルで機能的な各客室にはWi-Fiも完備。2階の休憩スペースに、コイン式ランドリー(洗濯機、乾燥機)やキッチン、電子レンジを備え、テラスでもくつろげます。ビジネス旅行、古鷹山登山、旧海軍兵学校で赤レンガの歴史的建造物や資料を見学できる無料ツアー、史跡巡りや飲食店巡りの拠点としても好立地の、ペア宿泊券です! [ETTO掲載歴: 7号]

3 「Sugos Cafe」ランチ券(組み合わせ自由) **2名様**

Sugos Cafe スゴス カフェ

【住所】 広島県江田島市大柿町大君2389-2
【電話】 0823-36-3556

ゆったり落ち着いて「過ごす」ことができる海辺の「スゴス」カフェには心地よいソファ席や、ワークにも便利な電源付きのカウンター席があり、ワーケーションの場所として、また団体での貸し切りも可能なスペースです。地元の新鮮な食材を使用したランチや軽食、デザートをご用意しており、オリジナルブレンドコーヒーや、江田島レモンソーダ水などのソフトドリンク(テイクアウト可)、アルコールも取り揃えています。今回は、メニューからお好きなものを2,000円分(税込)、組み合わせさせていただけるランチ券をプレゼント! [ETTO掲載歴: 9号]

4 「BYUCCA」ペア宿泊券 **1組様**

BYUCCA ビュッカ **グランピング**

【住所】 広島県江田島市大柿町大君2389-2
【電話】 0823-36-3574

江田島市の入口、早瀬大橋のそばに、グランピング、スゴスカフェ、撮影スタジオを含むリゾート施設を2023年に開業。ドーム型テントには、Wi-Fi、エアコン、冷蔵庫、ドライヤー、バジャム、タオル、自社製アメニティと、明るく清潔なバスルーム・トイレまで完備し、ご家族やご友人と心置きなく宿泊できるラグジュアリーな空間です。波音に耳を傾けながら、備え付けの焚き火台や、整えられたBBQスペースで、お持ち込みいただくお好みの食材を楽しみ、島の自然に癒される特別なキャンプをご体験ください。[ETTO掲載歴: 9号]

ご自宅で江田島市の特産品を楽しむ

5 クラフトビール3種 330ml×3本セット **2名様**

江田島ワークス エタジマワークス

【住所】 広島県江田島市能美町中町2372-1
【電話】 082-884-0191 ※(株)ヒロオカ本社

2022年、広島市の酒類卸会社「ヒロオカ」の新事業として江田島市初のクラフトビール醸造所を、明治から続く津田酒造の一角に整備。穏やかな香りと苦みですっきりとした味わいの中、麦芽の旨味を感じる「ゴールデンエール」は、揚げ物をはじめ幅広い料理に合います。ホップの華やかな香りと強い苦味の「IPA」は、スパイシー料理や中華に。豊かな泡とフルーティな香り、控えめな苦味の「ヴァイツェン」はドイツの伝統を受け継いだ新作です。江田島市の水を仕込み水として醸造した3種を飲み比べてください! [ETTO掲載歴: 8、9号]

6 江田島焼の湯呑み 2個セット **3名様**

沖山工房 オキヤマ コウボウ

【住所】 広島県江田島市江田島町宮ノ原3-14-1
【電話】 0823-42-4309

陶芸家の沖山努さんは、江田島産の牡蠣殻100%釉薬で焼成した「江田島焼」で知られ、NHKの「小さな旅」などメディア出演もあります。工房では茶陶、花入、食器、招き猫やフクロウの陶人形など多彩な作品を展示販売し、様々な注文や丁寧な梱包・発送にも対応。温かい人柄と豊富な知識、ユニークな話術で、学校、福祉施設、企業、イベントでの陶芸教室も積極的に開催。出張陶芸教室、特注作品のご希望者はお気軽に相談ください。今回は、日本茶はもちろん水や麦茶も味わい深く感じる湯呑みを2個セットで! [ETTO掲載歴: 2号]

7 カンパーニュ(有機小麦とライ麦のパン) **2名様**

しまのぱん souda! ソウダ

【住所】 広島県江田島市大柿町大原1637-1
【電話】 なし

江田島市の地域おこし協力隊1期生で、オリーブ普及員だった西村京子さんが任期満了後、古民家をリフォームして2020年にパン屋カフェを開店。レンガを積み上げた石窯を自作し、空、海、大地の頭文字から名付けた「ソウダ」のパンは白ご飯のように食べ飽きず、チーズやスープ、味噌汁や納豆にも合うと喜ばれています。オリーブ酵母で起こした自家培養発酵種と国産麦、江田島食材、薪木、地下水を使い、心を込めて焼く西村さん。毎月届くパンの定期便も大好評です。今回は、カンパーニュをプレゼント! [ETTO掲載歴: 4、6号]

8 和風「KAKIJAN」1個70g&牡蠣ジャーキー1袋15g **2名様**

Shirasuya e's シラスサイズズ

【住所】 広島県江田島市能美町中町4941-1
【電話】 0823-36-6621

牡蠣・シラス漁網元で育った山本江利子さんが2017年に開業した、創作家庭料理・ダイニングバーは、中町港より徒歩6分。自慢の江田島牡蠣を新しい形で楽しんでいたきたいという強い想いから生まれたオリジナル商品「KAKIJAN(かきじゃん)」は牡蠣のリエット(ペースト)です。ご飯のお供、おにぎりの具材、豆腐や野菜にも合う、牡蠣がごろごろ入った和風リエットには広島県産の醤油、味噌を使用。この和風2種から1点と、旨味を凝縮させた貝柱とヒモの「KAKIJERKeY(牡蠣ジャーキー)」をセットでどうぞ! [ETTO掲載歴: 8号]

9 江田島ブレンド ストロング 50ml **2名様**

瀬戸内いとなみ舎 セトウチ イトナミシャ

【住所】 広島県江田島市能美町中町3769-1
【電話】 090-1790-9904

神奈川県から2016年に移住し、江田島市の地域おこし協力隊1期生でオリーブ栽培技術指導員だった峰尾亮平さんが立ち上げた、「瀬戸内いとなみ舎(オリーブラボ江田島)」。自社農園で獲れた実で丁寧に作るオリーブオイル、オリーブの新漬けを製造しており、通販で購入可能。また体験ツアーも大人気。ぜひご参加ください。国際コンテストで何度も受賞歴がある中、今回はニューヨーク国際オリーブオイルコンペティション2024で金賞に選ばれた、苦みと辛さが鮮烈で上質なオリーブオイルをプレゼント! [ETTO掲載歴: 4、8号]

10 本醸造「かぐや」&清酒上撰「氷晶酒」2種セット **2名様**

津田酒造 ツダシュゾウ

【住所】 広島県江田島市能美町中町2372-1
【電話】 0823-45-2727

創業130年の老舗の代表銘柄「島の香(かおり)」のロゴは、「日本経済新聞」の題字を手掛けた書道家、上田桑鳩氏が友人を訪問時、二代目の津田馨さん達に頼まれてその場でサッと書かれた貴重なもの。今回は、優美な美しさに凛とした潔さを放つ、冬季限定の辛口本醸造「かぐや」と、凍てつく冬に仕込み、澄み切った辛口ながら旨みのバランスが絶妙な清酒上撰「氷晶酒」をプレゼント! 三代目の津田紘吏さんによると「冷や、常温、ぬる燗、お燗のどれでも美味しく飲める、料理に合わせやすい2種」とのことです。[ETTO掲載歴: 8号]

11 坪希の「ふくふく鯛めし」260g×2/パック **2名様**

坪希旅館 ツボキ リョカン

【住所】 広島県江田島市沖美町畑6-2
【電話】 0823-48-0018

夕日や星空が美しい沖美町で、四代目女将の坪木一恵さんが朗らかに迎えてくださる創業120年の料理旅館。ご家族、ご友人との会食や宿泊で、新鮮な海の幸を存分に味わえる島の隠れ家です。貴重な書、絵画、骨董品と見所が多く日本情緒あふれる本館と、バリアフリーのはなれ、2022年に2階建てで新築した、瀬戸内海を望む和モダンな天風邸は、ワーケーションにも適しています。今回は専用の釜でひと釜ずつ作り、急速冷凍技術で味をギュッと閉じ込めた、レンジで温めるだけで美味しい坪希の鯛めしをプレゼント! [ETTO掲載歴: 8号]

12 「鍛え牡蠣」殻付き牡蠣10個(生食用) **2名様**

寺本水産 テラモト スイサン

【住所】 広島県江田島市沖美町美能999-1
【電話】 0120-164-371

テレビ番組「日本の超一流漁師大集結SP!」や「ジョブチューン」、「めざましテレビ」でも取り上げられ、注目を集める寺本水産。「鍛え牡蠣」は、潮の流れが早い奈佐美(なさび)の海域で獲れた逸品で、ミネラルが豊富。濃厚かつ甘みもありミルクキーな味わいです。「ZIP」で水トアナウンサーが絶賛した「かきすず(牡蠣のすきやき)」や、「海の子(牡蠣のオリーブ漬け)」など、加工品も大人気の商品。生牡蠣は3月末到着指定で、公式サイトからも買うことができます。今回は、生食用の殻付き牡蠣をプレゼント! [ETTO掲載歴: 2号]

13 お菓子の詰め合わせ 中身はお楽しみに! **2名様**

長田製菓舗 ナガタ セイカホ

【住所】 広島県江田島市江田島町鷺部2-16-17
【電話】 0823-42-0174

江田島湾や山を眺めながらゆっくりとくつろげる、茶屋を併設したバリアフリー店舗を2022年に新築し移転。戦後に創業した初代から、三代目の長田朋幸さんまで、機械を使わず丹念に手作りして味を守り続けている定番商品に加え、新たなコラボ商品や季節限定品も試行錯誤し開発しています。商品についてはお電話でお問い合わせを。贈答品などのご注文はご希望の住所へお送りいたします。今回は、自家製こしあんを栗を包み込んだ「栗まんじゅう」、4種(青桃、栗、渋皮栗、梅)の甘露煮を丸ごとと黄身館で包んだ「安芸の詩」、焼饅頭の「江田島しぐれ」などを詰め合わせてプレゼント! [ETTO掲載歴: 8号]

14 「これ一本」味付け醤油&いりこの白だし **3名様**

濱口醤油 ハマグチ ショウユ

【住所】 広島県江田島市大柿町柿浦2080
【電話】 0823-57-2136

天保年間より170余年続く老舗。「美味しいものを食べている時は幸せな気持ちになる。そのお手伝いができればそれが私達の喜びです」と六代目の濱口督(ただし)さんは幅広い商品作りに励んでいます。全国醤油品評会で受賞したタママス醤油を使用し、鰹、昆布などのダシを加えた「愛情料理これ一本」シリーズが大人気。煮物、照り焼き、親子丼、すき焼きなどに使える、「これ一本・味付け醤油」と、うどん、寄せ鍋、おでん、和風パスタの味付けにも合う「いりこの白だしこれ一本・うすいろ仕立て」を2種セットでどうぞ! [ETTO掲載歴: 8号]

15 「江田島市古写真集」 **3名様**

江田島市教育委員会

【住所】 広島県江田島市能美町中町4859-9
【電話】 0823-43-1902

「ふるさと再発見 江田島市古写真集 ～つむぐ記憶と記録～」は市の皆様のご協力のもと、地域の古い写真を収集し、一冊にまとめて2021年に発行したものです。全120ページに掲載にされた写真は約250点。江田島市教育委員会の生涯学習課(上記の電話番号、またはメール、gakusyu@city.etajima.lg.jp)にお問い合わせいただくと、1冊1,000円(税込)で購入も可能です。今回は、4町それぞれのふるさとの風景を、令和の時代に再発見できる「江田島市古写真集」をプレゼント! [ETTO掲載歴: 10号]

読者プレゼント応募方法

今までにETTOの取材に応じてくださり、誌面を彩った
“えたとじま愛”あふれる15の企業より、
宿泊・お食事、特産品を、ご愛読者様へ特別にご提供!

同封のアンケート用紙、またはQRコードやURLより、アンケートフォームにアクセスし、お答えくださった方の中から、江田島市にて宿泊(1、2、4番)を1組2名様に、江田島市でランチ(3番)を2名様に。また、江田島市の特産品(5～15番)を25名様にお届けいたします。ETTO第10号のスペシャルなプレゼント企画です。ご応募を心よりお待ちしております!!

※読者プレゼントのご紹介は、企業名の50音順です
(江田島市教育委員会はのぞく)

読者プレゼント
応募用のQRコード



読者プレゼント応募用のURL

<https://etajimafan.net/free/researchs-etto>

※締め切りは、2025年3月15日です